

平成 27 年度

# 徳島大学大学開放実践センター公開講座 「生涯学習研究院」 受講生募集要項

## 生涯学習研究院とは

「生涯学習研究院」は、徳島県が現在抱えている様々な地域課題の解決に資するため、一般社会人を対象に、青少年健全育成、健康・フィットネス、災害対策と ICT、多文化共生の 4 つの領域についての専門的な知識・技術などを体系的に学ぶ機会を提供し、自ら地域課題の解決に積極的に取り組む生涯学習・市民活動のリーダーを育成することを旨とする学習プログラムです。

## 生涯学習研究院の特色

今日、急激な社会経済の変化のなかで、地域の連帯感や人間関係の希薄化が進み、個人が主体的に地域や社会のために活動する機会も少なくなってきました。一方で、青少年の健全育成や地域の医療・福祉、防災、環境保全、国際化など対応すべき地域課題はますます増えてきており、地域社会の活性化を推進する人材育成や地域コミュニティの再構築のための仕組みづくりが求められています。

徳島大学では、これまでも大学開放実践センターや各学部・センター等においてそれぞれの研究成果を生かした特色ある公開講座や講演会等を実施し、地域振興に貢献してきました。

こうした実績を踏まえ、徳島大学ではこのたび、創造力、実践力、応用力に富み、地域課題の解決に主体的に取り組む生涯学習・市民活動のリーダーを養成するための本学独自の学習プログラムを開発し、平成 25 年度から、「生涯学習研究院」を実施しています。

このプログラムの特徴は以下の点にあります。

### 1. 生涯学習の特定領域について、2 年間かけて体系的に学ぶ。

青少年健全育成、健康・フィットネス、災害対策と ICT、多文化共生の 4 領域について、それぞれの領域の基礎科目、専門科目、演習、課題研究を 2 年間にわたり、体系的に学ぶプログラムです。

### 2. 公開講座と大学の授業を組み合わせる。

大学開放実践センターが実施する公開講座だけではなく、4 つの領域に関係の深い分野の大学の授業を学生と一緒に履修するシステムになっています。

### 3. 「市民活動支援士」という称号を授与する。

厳格な審査を経た後に本プログラムの修了した者には、徳島大学大学開放実践センターから「市民活動支援士」という称号が授与されます。「市民活動支援士」は、学校や公民館における学習活動の指導者など、主体的な活動を展開することにより地域課題の解決に貢献することを目指します。また、当大学開放実践センターにおいて、一定の審査を経た後、自ら企画した公開講座を開講することも可能です。

### 4. 「徳大まなび連」(愛称) のメンバーになる。

「市民活動支援士」の称号を授与された方々は、「徳大まなび連」(愛称) のメンバーになります。

※ 「徳大まなび連」とは、市民活動支援士の称号を得た方々全体の愛称です。

## 1. 募集領域

生涯学習研究院には以下の4領域が設けられます。

領 域	生涯学習・市民活動支援の内容
①青少年健全育成	子どもたちの自然体験・社会体験活動等の指導者、放課後子ども教室・学校支援地域本部の指導者、青少年地域活動のリーダーなど
②健康・フィットネス	健康をキー・ワードとした講座のインストラクターや、地域の健康づくりボランティアリーダーなど
③災害対策と ICT	災害時に ICT を活用しながら中心となって活躍するボランティアリーダーや、災害対策の講座の指導者など
④多文化共生	語学力を活かし、世界の情勢を総合的にとらえ、複眼的な視野を持ち国内外で外国人支援、国際交流事業等で活躍できるコーディネーターなど

## 2. 出願資格

本プログラムを受講できるのは、原則として4年制大学を卒業した者、またはそれと同等の知識・技能があると本学が認めた者とします。

大学・大学院在籍者は原則として受講申し込みできません。

## 3. 募集定員

募集定員は、各領域とも数名です。

## 4. 受講年限

受講年限は原則2年間とします。但し、その間に修了できない場合は、受講を通算4年まで延長することができます。

## 5. 受講料

- (1) 受講料は、半期25,000円、年間50,000円とします。
- (2) 納入期間は、平成27年4月7日(火)～4月14日(火)です。半期ごとの支払になります。期限内に必ず窓口で納入してください。
- (3) 納入後の講習料の返還はできませんのでご了承ください。

## 6. 出願方法

- (1) 生涯学習研究院の受講希望者は、本プログラムの受講動機をA4用紙に1,000字程度にまとめてください。
- (2) 別紙「生涯学習研究院受講申込書」に、必要事項を記入してください。
- (3) 「多文化共生」の領域の受講希望者は、5年以内に受験した語学能力を証明する書類（英検、TOEIC、TOEFL、IELTS等の証書の写し）があれば添付してください。証明書がない場合には、受講決定後、直近のTOEIC試験を受験していただきます。

※上記(1)、(2)及び(3)をそろえた後、出願期間内に申込み先へ郵送してください。

## 7. 出願期間

- (1) 平成27年2月2日(月)～平成27年2月13日(金)17:00必着まで

## 8. 受講者の決定

- (1) 生涯学習研究院の受講の可否は、受講希望者が大学開放実践センターの複数の教員による面接を受けた後、決定します。

※面接は、平成27年2月26日(木)午前中を予定しています。

- (2) 受講の決定については、平成27年3月中旬までに郵送でお知らせします。

## 9. その他の注意事項

- (1) 公開講座や大学の授業に必要なテキスト・教材・傷害保険料など、別途個人負担の費用が掛かることがあります。
- (2) 実習・演習等で、交通費等別途個人負担の費用が掛かることがあります。
- (3) 公開講座及び大学の授業について、単位認定は行いません。

## 10. 学習の流れ

生涯学習研究院における学習プログラムは、1) 基礎科目、2) 専門科目、3) 生涯学習演習、4) 課題研究の4つから構成されます。

### 1) 基礎科目

指導者としての素養を身に付けることができるよう、本学が開講する公開講座、授業等の中から指定するものを30時間以上受講します。大学の授業は「公開授業」の制度を利用して受けますが、試験を受ける必要はありません（単位としては認定されません）。

### 2) 専門科目

受講者の専攻する領域に従い、その専門性を深めるため大学が開講する公開講座、授業等の中から指定するものを30時間以上受講します。大学の授業は「公開授業」の制度を利用して受けますが、試験を受ける必要はありません（単位としては認定されません）。

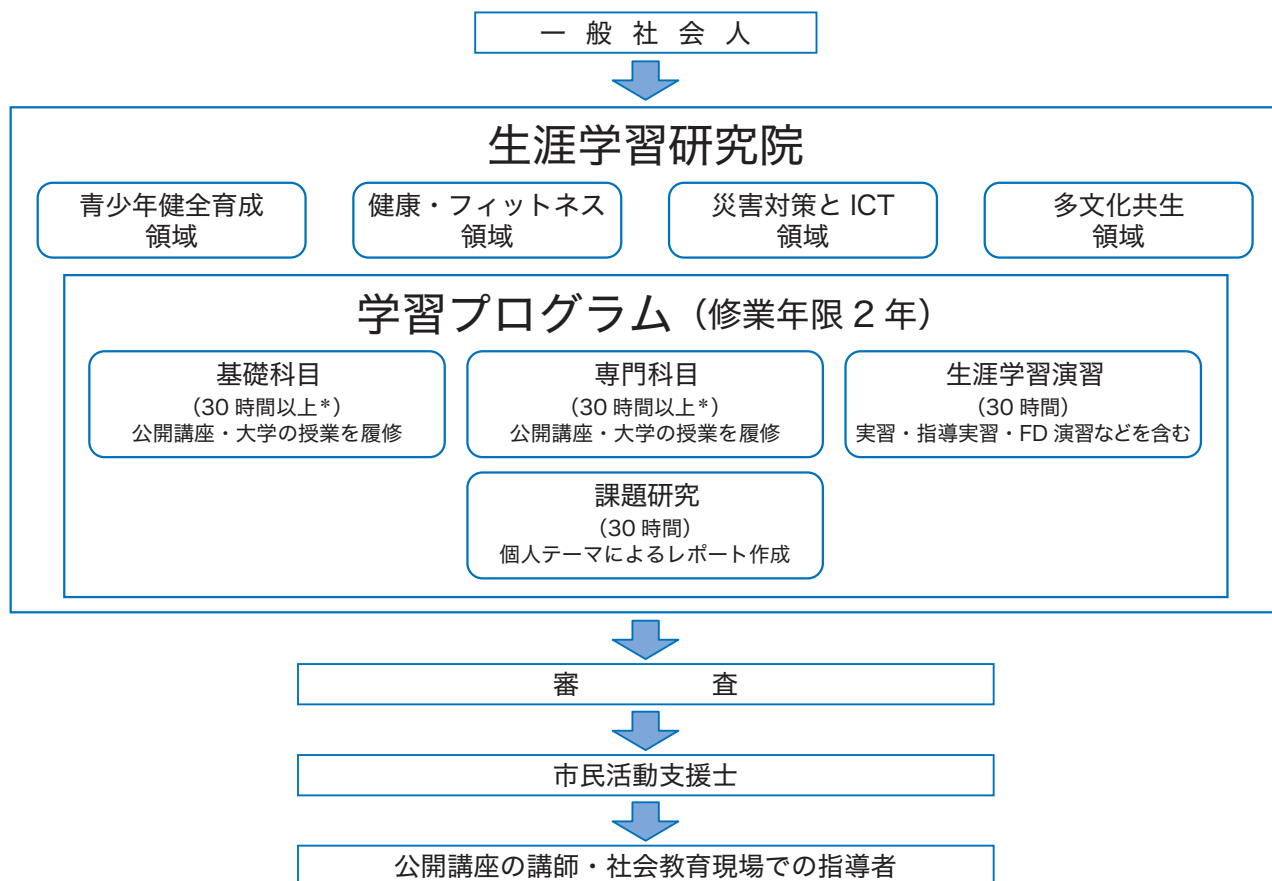
### 3) 生涯学習演習

各専攻領域に関係する機関・団体等での実習や、指導教員の講座・FD研修の補助等を含め、様々な学習活動を通じて、指導者としての知識・技能を高め、実践力や応用力を身に付けます。

### 4) 課題研究

受講者各人が、専門領域に関わる研究テーマを決定し、指導教員の指導を受けながら研究論文を作成します。

以上の学習を修了した受講生には、厳格な審査を経た後に、徳島大学大学開放実践センターから「市民活動支援士」の称号が授与されます。



【注】 \*印の基礎科目、専門科目の履修にあたっては、担当教員の承認を得なければなりません。

## 11. 年間スケジュール

平成 27 年度の予定です。(変更することがあります)

		公開講座の履修		授業の履修		生涯学習演習 (2年次以降)	課題研究 (2年次以降)
春学期	履修登録	3月23日(月)～ 3月26日(木)		履修登録	4月6日(月)～ 4月17日(金)		/
	受講	4月2日(木)～ 9月30日(水)		受講	4月13日(月)～ 7月24日(金)		
秋学期	履修登録	8月3日(月)～ 8月25日(火)		履修登録	9月24日(木)～ 10月6日(火)		
	受講	10月1日(木)～ 3月31日(木)		受講	10月1日(木)～ 1月29日(金)		

## 12. 履修科目一覧

	領 域			
	青少年健全育成	健康・フィットネス	災害対策と ICT	多文化共生
基礎科目	選択科目 [公開講座・大学の授業から選択]  excel で学ぶ徳島の生涯学習 (15) 生涯学習ボランティア入門 (15) など	選択科目 [公開講座・大学の授業から選択]  阿波踊り体操指導者養成 (5) 長距離ウォーク (18) ヘルシーフィットネス (22.5) ヨガストレッチ (22.5) 機能改善フィットネス (25.5) シェイプアップエアロビクス (25.5) 空海と歩く (22.5)* など	選択科目 [公開講座・大学の授業から選択]  excel で学ぶ徳島の生涯学習 (15) CMS システム入門 (15) Web システム入門 (22.5)* など	選択科目 (30) [公開講座・大学の授業から選択]  語学講座 など
専門科目	選択科目 [公開講座・大学の授業から選択]  青少年の理解と体験活動 (15) よくわかる生涯学習 (25.5)* など	選択科目 [公開講座・大学の授業から選択]  健康運動の理論と実際 I (10) 健康運動の理論と実際 II (10) 健康運動の理論と実際 III (10) 地域健康福祉論 (22.5)* ヘルスプロモーションの基礎 (22.5)* 健康体力科学の基礎 (22.5)* 運動生理学 (22.5)* 応用解剖学 (22.5)* スポーツ栄養学 (22.5)* など	選択科目 [公開講座・大学の授業から選択]  気象災害を防ぐ (22.5)* 災害を知る (22.5)* 地震・火山災害を防ぐ (22.5)* 災害に備える (22.5)* など	選択科目 (30) [公開講座・大学の授業から選択]  語学講座 多文化共生研究 など
生涯学習演習	自然体験活動の実際 I (15) 自然体験活動の実際 II (15)	健康フィットネス演習 I (10) 健康フィットネス演習 II (10) 健康フィットネス演習 III (10)	ボランティア実習 I (15) ボランティア実習 II (15)	多文化共生演習 (30)
課題研究	青少年体験活動演習 I (15) 青少年体験活動演習 II (15)	課題研究 I (15) 課題研究 II (15)	課題研究 I (15) 課題研究 II (15)	多文化共生課題研究 I (15) 多文化共生課題研究 II (15)

- 【注】 1. 基礎科目及び専門科目の選択科目については、毎年指導教員との協議により定めるものとします。  
平成 27 年度春学期分の履修については、合格後速かに指導教員の指導を受けて頂きます。  
2. \*印は大学の授業で履修します。但し、希望しても定員等の事情により受講できない場合もあります。  
3. 開講科目は、各年度都合により変更になることがあります。

### 13. 指導教員のコメント

領 域	指導教員	コ メ ン ト
青少年健全育成	大学開放実践センター 馬 場 祐次朗 教授	子供たちは、自然体験・生活体験・社会体験など多くの体験活動を通して成長していくものですが、科学技術の高度化や情報化の進展など社会の急激な変化を背景として、そうした機会は最近ますます減少しています。子供たちが豊かな人間として成長できるよう、意図的に体験活動の機会を創出していくことに挑戦してみませんか。
健康・フィットネス	大学開放実践センター 田 中 俊 夫 教授	健康寿命の延伸は地域の抱える大きな課題です。高齢社会が進行するほど運動の果たす役割はより大きくなっていきます。また運動は単なる健康増進や機能維持のための活動にとどまらず生きがいづくりにもつながっていきます。知識と実践力、指導力を高め、地域における健康づくり運動のリーダーや指導者として活動できることを目指します。
災害対策とICT	大学開放実践センター 金 西 計 英 教授	南海トラフ巨大地震が発生した場合、徳島では甚大な被害が想定されます。我々には、防災・減災の各種の取り組みが必要となります。防災に関わるボランティアの養成は緊急の課題であり、各種の防災ボランティア講座が開かれています。防災ボランティアと言っても、その対象は多岐に渡ります。そこで、本年度は、防災と学習の関わりを取り上げたいと思います。具体的には、防災のためのワークショップを自ら企画し、実施できるようになることを目指します。まずは、各種の防災教育の実態の調査から始めたいと思います。
多文化共生	大学開放実践センター 鈴 木 尚 子 准教授	この領域では、海外で将来活躍したいと考えている方や、地域の国際交流活動等を通じて外国人支援に携わりたいと考えている方を対象に、多文化共生という観点から考察を深めます。徳島大学では関連する授業はほとんど開講されていませんが、学内で開講されている語学講座や各自の問題関心に沿う授業・講座を中心に補助的に受講しながら学習を進め、最終的にはご自身が設定した課題研究に向け、主体的に取り組んでいく姿勢が望まれます。当領域の指導は、パソコンの基本操作（ワード・エクセル等による文書作成、文書を添付したパソコンメールの送受、インターネット検索）を習得していることを前提とします。

### 14. 申し込み（問い合わせ）先

徳島大学大学開放実践センター  
 〒770 - 8502 徳島市南常三島町1 - 1  
 電話：088 - 656 - 7276、FAX：088 - 656 - 7277  
 （月～金 9：00～17：00）  
<http://www.cue.tokushima-u.ac.jp>

## 大学へのアクセスガイド



## 駐車場利用についてのお願い

日頃は、大学開放実践センターの公開講座を受講いただきありがとうございます。

現在、受講生の駐車場については、センター敷地整備等で駐車場の確保に努めていますが、受講生の増加でセンター駐車場が不足しており、総合科学部や工学部に公開講座受講生の駐車スペースの提供等、協力いただいている次第です。

ついては、駐車場トラブルを避け、快適な受講ができますよう下記についてご協力くださるようお願いいたします。

### 記

- 1 受講に際しては、近距離（下図枠線内地区）に居住の方は、車での参加をご遠慮ください。（近距離にお住まいの方は、自転車・徒歩、又は公共交通機関等を利用しての受講をお願いします。）
- 2 駐車場を利用希望される受講者は、受講申込の際に必ず駐車許可を申請ください。後からの申請では諸事情があっても許可できないことがあります。（近距離にお住まいの方は、駐車許可申請しても許可されない場合があります。近距離については下図を参照してください。）
- 3 駐車許可された方には、駐車許可証を発行しています。講座受講中は必ず、車のフロントガラスの外から見える場所に掲示してください。
- 4 駐車場における盗難・事故等については、一切の責を負いません。受講生各自で徐行運転等注意してください。
- 5 駐車許可証を忘れた方は、センター事務室で臨時駐車許可証をもらってください。









氏名

---

**【受講動機】**（ワープロ・手書き等様式は問いません。A4 版用紙を使って、1,000 字程度にまとめてください。）

送り先：〒 770-8502

徳島市南常三島町 1 丁目 1 番地

徳島大学大学開放実践センター

TEL：088 - 656 - 7276

**【注意事項】**

※ FAX での受付は行っていません。

※ご記入いただいた情報については、個人情報保護の観点から厳重に管理いたします。また、①講座への登録、及び受講に関する連絡、講座の実施に必要なこと、②今後の公開講座等の案内、及び統計情報の作成の目的以外には使用いたしません。

公開講座受講生駐車許可申請書			
氏 名			
出 発 地 (いずれかに✓印を付け、 自宅以外の場合は住所を記 入してください。)	<input type="checkbox"/> 自宅		
	<input type="checkbox"/> 自宅以外 (住所)		
出発地（自宅・勤務先等） から大学までの距離（片道）	自動車の場合	km	時間 分
	交通機関の場合	km	時間 分
許可条件①を満たさない方 は通学に自動車を必要とす る理由（交通機関、自転車 等では不自由な理由を詳細 に記入してください。）			
車 両 番 号 (例：徳島 500 あ 1234)			

注) 7頁の「駐車場のご利用について」をよく読んでからご記入ください。

(参考)

1. 許可条件

- ① 近距離（7頁の下図枠内地域）にお住まいの方は、車での参加はご遠慮ください。（許可申請しても駐車許可できない場合もあります。）
  - ② ただし、特別な理由により車での通学が必要とセンターが判断した場合は、駐車利用できます。
2. 距離は事前に距離計（トリップメーター等）で計り、できるだけ正確に記すこと。

